

幼児教育に役立つ動画を配信中！



YouTube
のびラボチャンネル



幼児教育・小学校受験対策プリント
ダウンロード販売サイト
<https://www.nobillabo.com/>

©Nobillabo 2021 無断転載や内容を改ざんしての配布、転売などはご遠慮ください。



しばらくして、おおかみは めをさしました。

「おお、よくねた。おや、おなかが ずっしりと おもいきがするぞ。」

おおかみが おきあがろうとすると、おなかが ゴロリゴロリ になっています。

「こやぎを たべすぎたかな。」

21 おおかみは、おもたい おなかを かかえて、みずを のもうと、いけまで きました。



こわい おおかみは、そのような いえのかげから じっと みていました。

「しめしめ。いまのうちに、こやぎたちを くってやる。」



もりのなかに、おかあさんやぎと、7ひきの こやぎが すんでいました。
あるひ、まちに かいものに いくことになった おかあさんやぎは、こやぎたちに いいました。
「おおかみがきても、けっして ドアを あけてはいけませんよ。
おおかみは、こえは ガラガラで、ては しろいから、よく おぼえておいてね。」
「はい！」こやぎたちは、げんきに こたえました。

1



「うう、おなかが おもくて うまく あるけないぞ。」
いけに かおを つっこんだとたん、バランスをくずして、おおかみは いけに おっこちて しまいました。

「たすけてくれえ！」
そのようすを こっそり みていた、おかあさんやぎと 7 ひきのこやぎは、おおよるこび。
「やったあ！ おおかみを やっつけたぞ。」
それからは、やさしくて つよい おかあさんやぎに まもられ、7 ひきのこやぎは、ずっと しあわせに くらしました。

22



おおかみは、しばらくすると やぎのおうちに やってきて、ドアを たたきました。
そして、おかあさんの ぶりをして いいました。

「おかあさんが かえってきましたよ。ドアを あけておくれ。」
しかし、こやぎたちは だまされません。
「あけないよ。おまえは、おおかみだな！ おかあさんの こえは、そんな ガラガラごえじゃない！
かえれ かえれ！」おおかみは、ちっと したうちしました。

3



「さあ、このわるいおおかみが ねているあいだに おしおきをしてやりましょう！」
おかあさんやぎは、こやぎたちに いしを ひろってくるように いいました。
ぐっすりとねている おおかみの おなかに、いしをつめこむと、
おかあさんやぎは、はりといとで おなかを めいつけました。

20



ぶじに さいかいした 7ひきのこやぎと おかあさんやぎは、ぎゅうと だきしめあいました。



おおかみは、こえを きれいにする のどあめを たべました。
「ようし、これで、こえが きれいに なった。これで、こやぎたちを くれるぞ。」



おかあさんやぎは、おおいおぎで いえにかえって、おおきなはさみを もってきました。
そして、おおかみの おなかを、ジョキジョキ きりひらきました。



おおかみは、まどから てを みせました。
「あ！くろいてだ！おまえは おおかみだな。おかあさんは そんな まっくろなてを していないよ。」
「そうだ！かえれ かえれ！」
「しまった。また、しっぱいしたか。」おおかみは、くやしそうに したうちしました。



「おかあさんですよ。ドアを あけておくれ。」こやぎたちは、かおを みあわせました。
「さっきみたいな ガラガラごえ じゃない。きれいなこえだよ。おかあさんだ!」
1 びきの こやぎが いうと、べつの こやぎが いいました。
「だめだよ、ても みなくっちゃ。」
こやぎたちは、こえを そろえて「じゃあ、てもみせて。」と いいました。



そこで おおかみは、こなやに いくと、しろい こなを かいました。
「ひっ、ひっ、ひっ。さあ、てが まっしろに なったぞ。これで、こやぎたちを くれるぞ。」



すると、おなかのなかから こやぎたちが つぎつぎと とびだして きました。
「おかあさん!」
こやぎたちは、おおよろこびで おかあさんに だきつきました。



おかあさんやぎと、いちばんしたの こやぎは、おおかみを さがしに いくことにしました。
そして、のはらの まんなかで、ゴオーゴオーと、おおいびきをかいて ねているおおかみを みつけました。
おおかみのおなかは、ぱんぱんに ふくれています。
「あっ。おおかみのおながが うごいているよ。」
もももごと うごいた おなかをみて、こやぎが いいました。「こどもたちは、まだ いきているんだわ!!」



「おかあさん、こわかったよう。
こわいおかみがきて、おにいちゃんたち、みんな たべられちゃった。」

15



おかみは、またまた やぎの おうちに やってきました。
「ほんものの おかあさん ですよ。ドアを あけておくれ」

8



でも、ドアは あけっぱなし、へやは めちゃくちゃです。
こやぎたちの なまえを よんでも、へんじが ありません。
「まあ、いったい どうしたの。こどもたちは、どこに いったの？
きっと おおかみに たべられて しまったんだわ。」
13 おかあさんやぎは、なきだして しまいました。



「おかあさんだ！ おかえりなさい！」
こやぎたちは、おおよこびで ドアを あけました。

10

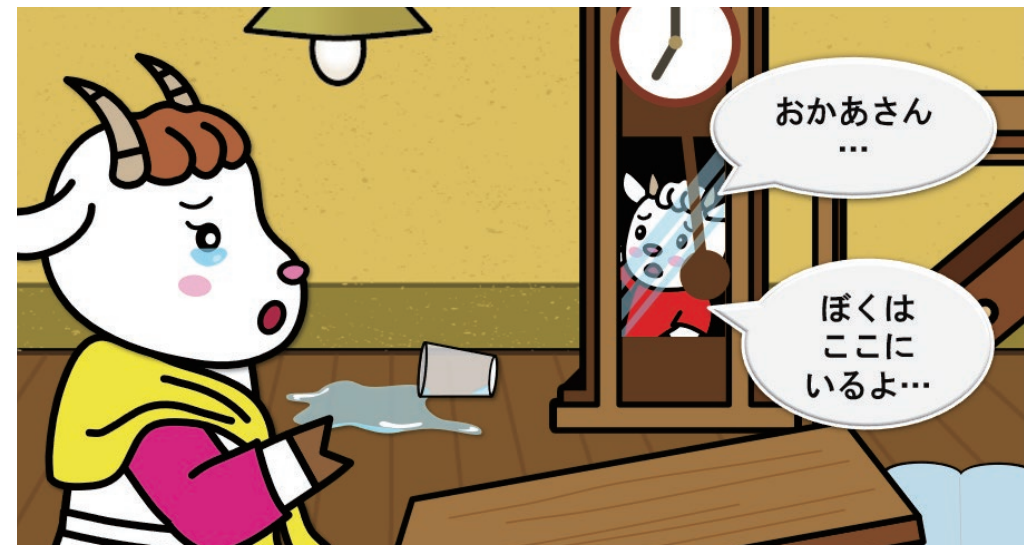


おかあさんだ！

かえって
きたよ。

「はやく あけておくれ。ほら、ても しろいでしょ。」
こやぎたちは、かおを みあわせて いいました。
「こえも きれい。」「ても しろい。」

9



おかあさん
...

ぼくは
ここに
いるよ...

すると、どこからか、ちいさな なきごえが きこえてきました。
「ああ、ぼうや！ おにいさんたちは どこにいったの？」

14



「がおー！！」とびこんできたのは、こわい おおかみです。
「うわあ！ おおかみだあ！」
こやぎたちは、びっくりして にげまわりました。
「たすけてー！」

11



かくれても
むださ！

こやぎたちは、あわてて、おうちの あちこちに、かくれました。
「かくれたって むださあ！」
おおかみは、かくれている こやぎたちを、つぎつぎと みつけだし、ぱくりと まるのみしていききました。

12